



ようきんさった 智頭町へ

体験
てんこもり

ごっつおは、とれたての幸と
だんらんと

※「ごっつおは」は、てんこもりという意味

「民泊受入れ」はじめてみませんか？

「民泊」とは、宿泊形態のひとつで、一般の家庭で宿泊を受入れるものです。

ホテルや旅館、民宿との大きな違いは、宿泊の受入れを通じた宿泊者と民泊家庭との交流にあります。

遠くに住む親戚の家を訪れたときのような気持ちで、本町で暮らす人々との交流と、豊かな自然環境をお楽しみいただけます。

智頭町民泊協議会では、受入れについての悩みなども会員同士で共有し、解決・改善策を考え、次回受入れの参考にしていますので、初めての受入れでもサポートが多く安心です！

民泊についての関心、疑問点など、電話での相談はもちろんです。希望があれば事務局が説明のために自宅まで伺います。

まずは気軽に、下記事務局までお知らせください。

◆民泊受入れのキーワード◆

「基本的には普段どおり」「無理はしない」

Q 民泊受入れ時の食事は、どのようなものを提供すれば良い？

A 民泊があるからといって特別なことをする必要はありません。畑で採れた野菜を使った料理など、普段から食卓に並んでいるようなものが喜ばれます。

Q 必要な許可などは？

A 本町の民泊では、旅館業法の簡易宿所営業許可の取得を推進しています。取得にあたっては、面積要件のほか、住宅用火災警報器の設置などの条件はありますが、住宅改修が必要となることはあまりありません。

Q 受入れ態勢が整わない時は？

A 平日のみ、土日のみ、女性限定など条件を指定できます。それぞれのお家の都合を優先し、無理のない範囲で受入れをお願いします。